ビクトリア湖の環境保全と水産業振興　(2011－)

長崎大学高度化推進経費

日本学術振興会 研究拠点形成事業（アジア・アフリカ学術基盤形成型）

ビクトリア湖の水環境・生態系の包括的研究開発プロジェクト（LAVICORD）

参加機関：長崎大学 (水産学部，工学部)、マセノ大学、ケニア国立海洋水産研究所 (KMFRI)、モイ大学

活動内容

１．環境（長大工・水，マセノ）
- ビクトリア湖ケニア水面の水理シミュレーションモデル開発
- ビクトリア湖の水環境汚染の現状把握

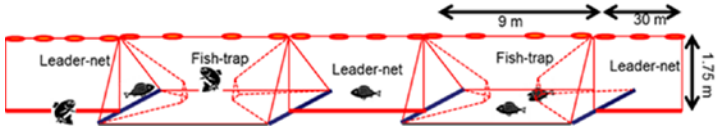
２．水工学（長大工，マセノ，モイ）
- 湖水利用を促進するバイオフェンスシステムの開発
- 簡易型の汚水リサイクルシステムの開発

３．水産（長大水，マセノ，KMFRI）
- ナイルパーチ養殖技術の開発
- 湖の魚類を使ったケニア風カマボコの開発
- 乱獲を抑制するトラップネット漁具の開発

Ogal（地名）に設置したバイオフェンス

バイオフェンスで濾過された湖水（一番左）

生け簀養殖で育てられたナイルパーチ

ビクトリア湖産の魚でつくられたケニア風カマボコとナイロビで行われた試食会

待って獲るので漁業者間の競争を煽らないトラップネット